LOGISTICS NIPPON
物流ニッポン
発行/月曜日・木曜日　第3251号
購読料/半か年32,130円（月額5,355円、税込）
©物流ニッポン新聞社 2009（1969年4月1日第3種郵便物認可）
2009年（平成21年）
9|7
（月曜日）

不動産「市場予測」テーマにゼミ

JA－LPA

【山本智之】日本物流不動産評価機構（JA－LPA、望月光政委員長）は3日、東京都で「物流不動産の変化を予測する」をテーマにセミナーを開催した。

望月委員長が「昨今の経済環境は目まぐるしく変化している。これからは、世界経済の中で物流不動産市場をとらえる必要がある」とあいさつ。

日本政策投資銀行（室伏稔社長、東京都千代田区）の田中賢治・産業調査部経済調査室課長は「世界同時不況と日本経済」をテーマに講演。「日本経済は緩やかに持ち直しており、年内の二番底はない。その一方で、世界貿易は活性化されておらず、輸出主導型の景気回復の望みは薄い。自立的な民間内需の喚起が必要だ」と話した。

続いて、イーソーコ総合研究所（港区）の河田栄司社長が「勝ち残るための物流不動産情報－最前線」と題して、物流不動産市場の現状を解説。「不動産市場は遅延性あるマーケット。空室率や価格が良好に推移するには1年、市場回復までは2～3年かかるだろう。その時期にはさらに進化し成熟しており、新たなプレーヤーが参入してくる可能性もある」と強調した。

望月委員長が「世界経済の中で市場をとらえる必要がある」とあいさつ

そのほか、ロジテジー（延嘉隆社長、墨田区）の島田英敏コンサルタントによる「事業承継におけるM&A（企業の合併・買収）、物納の難しさ」の講演が行われた。